

河村城の概要

河村城は、郭の配置などが近世の絵図にも残っており、また発掘調査により障子堀や橋脚遺構、空堀、段切腰郭等が発見されています。

河村城を築いたとされる河村氏は、平安時代末期に秀郷流藤原氏の一族、波多野遠義の次男、秀高が現在の山北の地を領し、河村を名乗ったことに始まると考えられています。

源氏と平氏による石橋山の合戦の際、河村秀高の子、義秀は平氏に味方したため領地を没収されてしまいますが、鎌倉で源頼朝に流鎬馬の妙技を披露し、本領河村郷に復帰できたと『吾妻鏡』に記されています。

南北朝時代、北朝方の足利尊氏軍との争乱の中、1352(正平7)年に南朝方の新田義興らが河村城に籠城しますが、1353(正平8)年には新田軍は河村城から退去したと『太平記』に記されています。

戦国時代、河村城は小田原北条氏の武田氏に備えた出城として重要視されましたが、1590(天正18)年、豊臣秀吉の小田原攻めに際し、廃城となったと考えられています。

河村城跡史跡整備

1989(平成元)年から6年の歳月をかけて河村城跡の調査研究と歴史公園としての整備が行われ、1994(平成6)年5月に「河村城址歴史公園」が誕生しました。

1996(平成8)年、県内の山城としては初めて県指定史跡(面積81,334㎡)となりました。また、2003(平成15)年に整備の基本構想である「河村城跡史跡整備マスタープラン」を策定し、確認調査を行いながら、現在も整備を継続しています。

今後も、町の貴重な文化財を保護・保存していくとともに、町のシンボルとして、町民をはじめ広く「歴史を感じ、自然を満喫できる異空間」として活用を図っていきます。

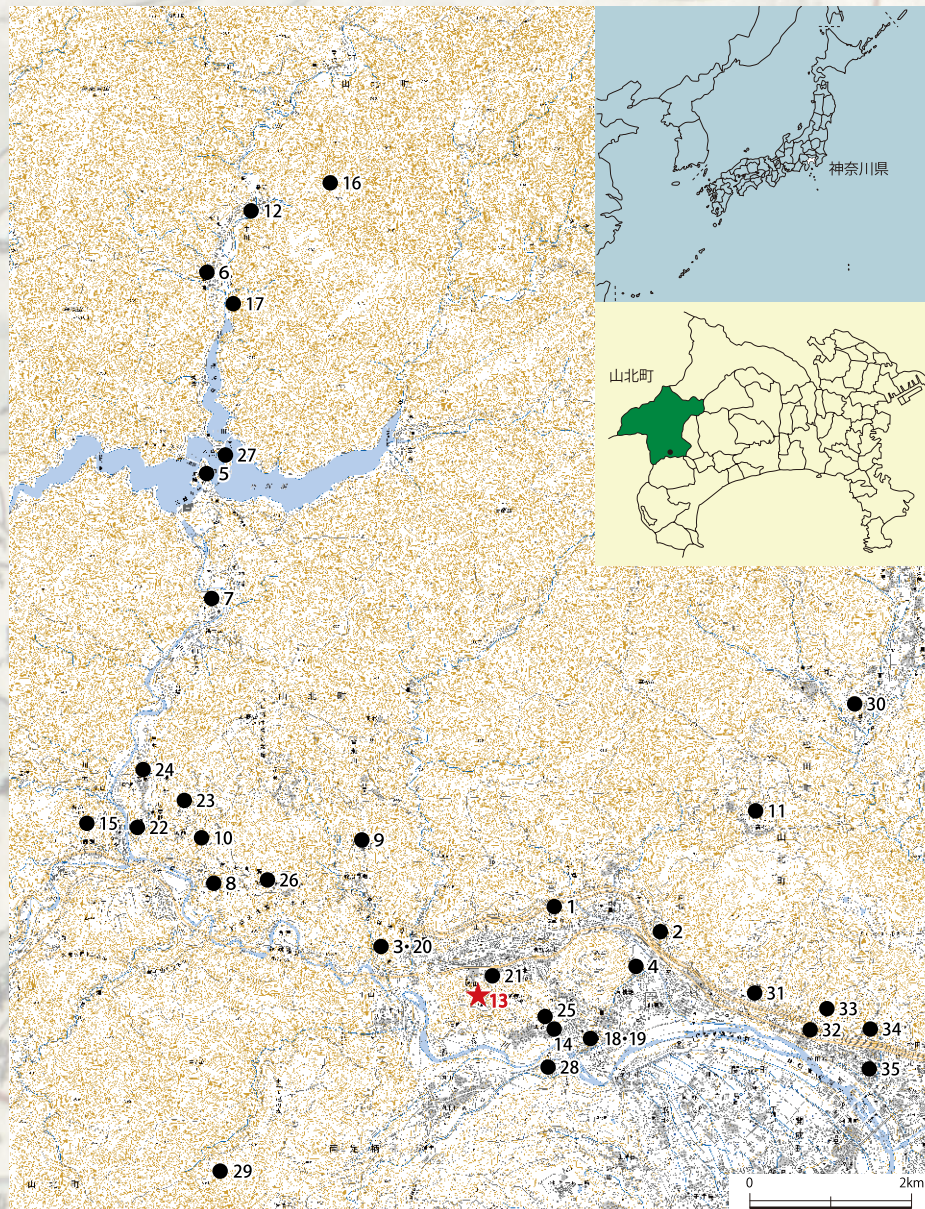
町内の城郭遺跡

町内には、河村城跡のほかにも河村新城跡など戦国時代の城郭遺跡があります。町のホームページではそれらの遺跡の紹介や河村城跡の動画も掲載していますので、ご覧ください。

こちらを読み取ると町のホームページをご覧いただけます。



河村城跡と周辺の遺跡分布図



河村城跡へのアクセス

交通機関：JR 御殿場線 山北駅（南口）

城入口まで徒歩 10 分

山頂「本城郭」まで徒歩 30 分

お問い合わせ

山北町教育委員会

生涯学習課

〒258-0195

神奈川県足柄上郡山北町山北 1301-4
0465-75-3649

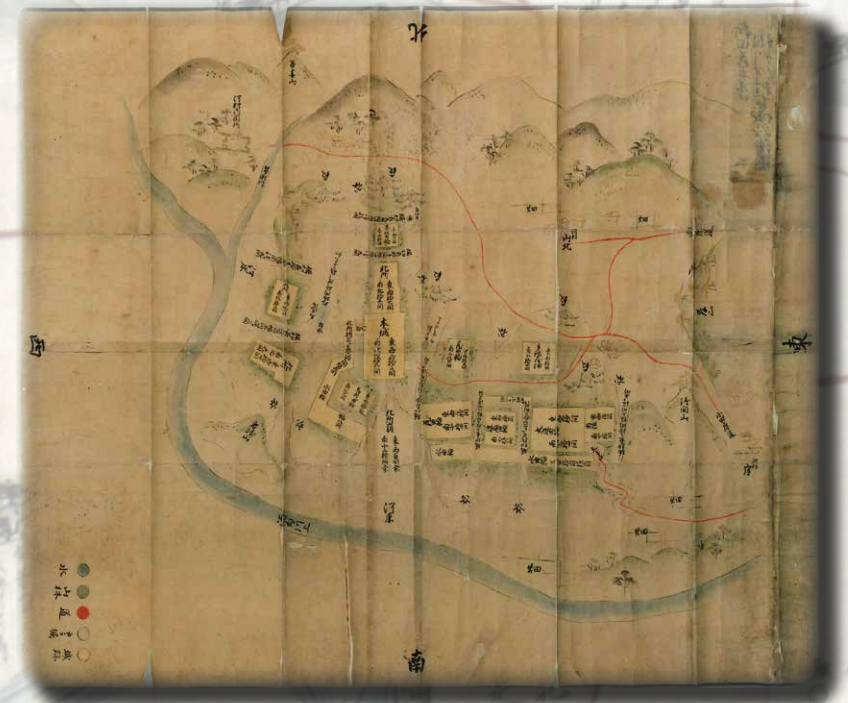
gakusyu@town.yamakita.kanagawa.jp

2020(令和2)年2月 改訂(4)

神奈川県指定史跡

かわむらじょうあと

河村城跡



新田義興居城河村古城跡絵図（江戸時代）

山北町教育委員会



A 西郭～北郭(森林セラピーロード)



B 茶臼郭～小郭



C 木橋(堀切)



C 堀切発掘調査(堀切断面)



D 大庭郭発掘調査
(宝永火山灰の天地返し跡)



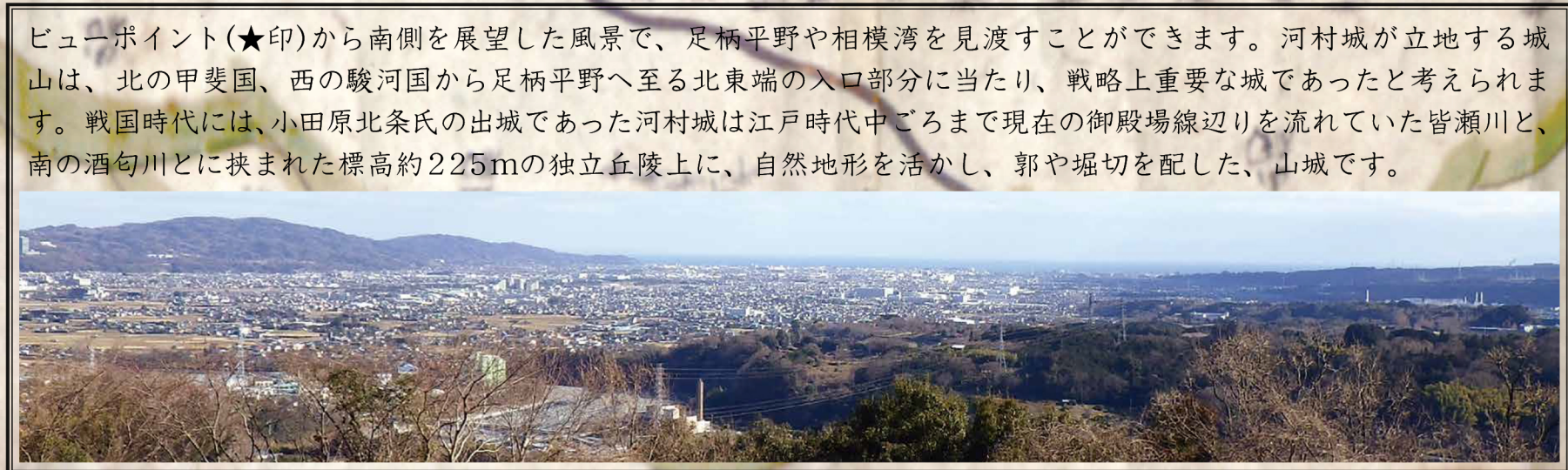
E あずまやから西側の展望(近藤郭)



E 展望あずまや



E あずまやから東側の展望(大庭郭)



ビューポイント(★印)から南側を展望した風景で、足柄平野や相模湾を見渡すことができます。河村城が立地する城山は、北の甲斐国、西の駿河国から足柄平野へ至る北東端の入口部分に当たり、戦略上重要な城であったと考えられます。戦国時代には、小田原北条氏の出城であった河村城は江戸時代中ごろまで現在の御殿場線辺りを流れていた皆瀬川と、南の酒匂川とに挟まれた標高約225mの独立丘陵上に、自然地形を活かし、郭や堀切を配した、山城です。



1 茶臼郭周辺発掘調査



2 蔵郭発掘調査(竪穴状遺構)



3 堀切(障子堀)発掘調査



4 近藤郭発掘調査